

## 国際自転車ロードレース大会(Tour of Japan)の誘致について

本市では現在、東京 2020 オリンピック競技大会における自転車ロードレース競技の市内実施に向けた取組を進めているところですが、これと並行し、大会後のレガシーとして、UCI(国際自転車競技連合)公認国際自転車ロードレース「Tour of Japan」(以下「ツアー・オブ・ジャパン」といいます。)を誘致することとしましたので、お知らせします。

今後、地域の皆様や関係機関の御理解及び御協力をいただきながら実施に向けた準備を進めてまいります。

### 1 ツアー・オブ・ジャパンについて(別紙参照)

国内最大規模かつ唯一の都府県をまたぐステージレース(全 8 ステージ、8 日間)として、平成 8(1996)年以降 22 回開催されています。

自転車月間事業( )として自転車月間推進協議会が主催するレースで、各ステージの運営は、ステージごとに設置する実行委員会が中心となって行います。

自転車活用推進法(平成 28 年法律第 113 号)第 14 条第 2 項の規定により、毎年 5 月 1 日から 5 月 31 日までが「自転車月間」とされています。

### 2 (仮称)相模原ステージの実施概要

本市においては、令和 3(2021)年度以降、第 7 ステージを実施する想定の下、オリンピック自転車ロードレース競技のコースを最大限に活用するコース案にて関係機関と調整しております。



《 参考：南信州ステージの様子 》



問合せ先  
オリンピック・パラリンピック推進課  
電話 042-851-3248

# 「ツアー・オブ・ジャパン (NTN presents Tour of Japan)」の概要

別紙

国内において、最大規模かつ都府県をまたぐ唯一のステージレース。(日本版ツール・ド・フランス)  
国内で開催されているUCI(国際自転車競技連合)公認レース(7レース)の一つとして、1996年以降22回開催。



## 全体概要 (2019年)

主催	自転車月間推進協議会 主管: ツアー・オブ・ジャパン組織委員会(事務局:(一財)日本自転車普及協会)
後援・協力	各府省庁(文部科学省、経済産業省、国土交通省ほか) 関係自治体等
開催日程	毎年5月中下旬の日曜日～翌週日曜日(8日間・8ステージ)
出場チーム	全16チーム(海外7チーム/国内9チーム) Team UKYOを含む。
チーム編成	9名(選手6名/監督1名/メカニック1名/マッサー1名)
協賛企業	NTN株式会社(冠協賛)、株式会社SUBARU、デサントジャパン株式会社、ヤマハ発動機株式会社、株式会社シマノ、株式会社明治 等 (メディア放映) BS日テレ 総集編(60分)として後日放映。スポーツブル(無料スマホ・PCアプリ) 全ステージをインターネットライブ配信。 <b>BS日テレ SPORTS BULL</b>

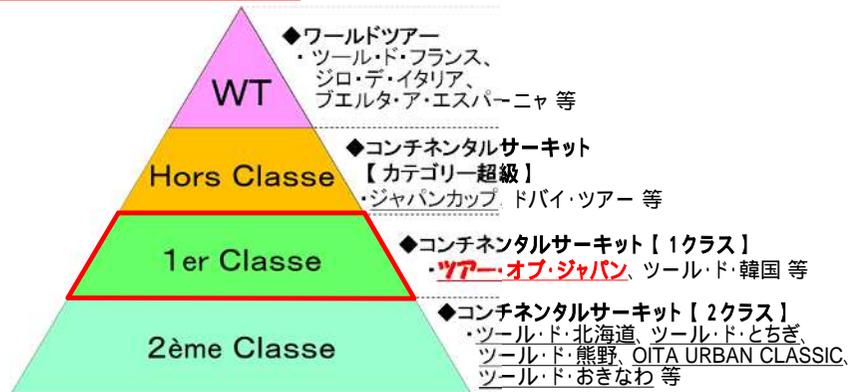
## 各ステージの概要 (2019年)

<b>第1ステージ【堺】(大阪府 堺市)</b> 2.6km(個人タイムトライアル) 獲得標高 = 10m <b>第2ステージ【京都】(京都府 京田辺市 精華町)</b> <パレード3.8km> + <4.2km + 16.8km x 6周 = 105.0km> 獲得標高 = 1,836m <b>第3ステージ【いなべ】(三重県 いなべ市)</b> <パレード3.1km> + <8.6km + 14.8km x 8周 = 127.0km> 獲得標高 = 1,650m <b>第4ステージ【美濃】(岐阜県 美濃市)</b> <パレード4.0km> + <11.6km + 21.3km x 6周 = 139.4km> 獲得標高 = 1,218m	<b>第5ステージ【南信州】(長野県 飯田市)</b> <パレード7.3km> + <12.2km x 10周 + 1.6km = 123.6km> 獲得標高 = 2,580m <b>第6ステージ【富士山】(静岡県 小山町)</b> <パレード6.2km> + <8.5km + 8.3km + 19.2km = 36.0km> 獲得標高 = 1,760m <b>第7ステージ【伊豆】(静岡県 伊豆市)</b> <12.2km x 10周 = 122.0km> 獲得標高 = 3,750m <b>第8ステージ【東京】(東京都 大田区・品川区)</b> <パレード3.8km> + <7.0km x 16周 = 112.0km> 獲得標高 = 50m
---	---



## UCI公認レースカテゴリー

下線部は、国内レース



## ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)の地域貢献活動

子供たちがプロ選手たちに憧れを抱き、競技に興味を持つための環境づくりを推進。  
例) 自転車安全教室の実施、表彰式にキッズプレゼンターが登場 等

各ステージ毎に、出場する国内チームを「ホームチーム」として設定。当該チームは、レース期間外にも「ホームステージ」を訪問し、子供たちとの交流イベント、強化合宿等を実施。

子供向け自転車安全教室

(2018年表彰式のキッズプレゼンター)

(ホームチームの応援)

(選手と子供達との交流イベント)